



静岡県議会報告

平成26年冬号



自民改革会議 **五輪会**
静岡県議会議員

おち あい しん ご 落合 慎悟



地域の声を県政に反映
ご意見ご要望をお聞かせください。



1. 静岡県学力低下問題検証! 9月議会、12月議会では学力低下問題と小学校副教材について教育長に質問が多かった。



校長会・職員組合が編集発行
株静岡県教育出版社



全国採用の株光文書院

◎TOSS代表の向山洋一先生(11月23日産経新聞記事)
TOSS(約1万人の教員が参加する教育技術則化運動)

静岡県の学力低下は副教材採用にも問題あり

- ①新学期担任が教材を選べない。
- ②見本教材がない。
- ③2月に教材を決める。

学力最下位問題で学校の教材採用に上記3つの問題を指摘。さらに「静岡県校長会・教職員組合が発行する教材の採用は静岡県以外では考えられない事態!!」教材は県内統一でなく校長によっては新担任に決めさせている学校もあったが、新学期でなく2月に決めるには文書で提出し公印が必要だ、どう操作していたのか?」日本教育技術学会800名の研究者・先生は「静岡県の教材にテストの作り方が未熟・素人との判断」を下した。

◎11月県教委学力向上推進会議

静岡県の学力調査結果から中学でも「説明や記述を伴う問題」の無回答率が高いことが判明した。小学の全国最下位である国語A(基礎問題)で記述問題の無回答率が非常に高いことから、中学でも小学校からの影響が大きいと判断した。学力低下要因として「教員の学習指導要領の内容の押えがおろそか」「児童が自ら計画的に行う家庭学習の弱さ」等が指摘された。

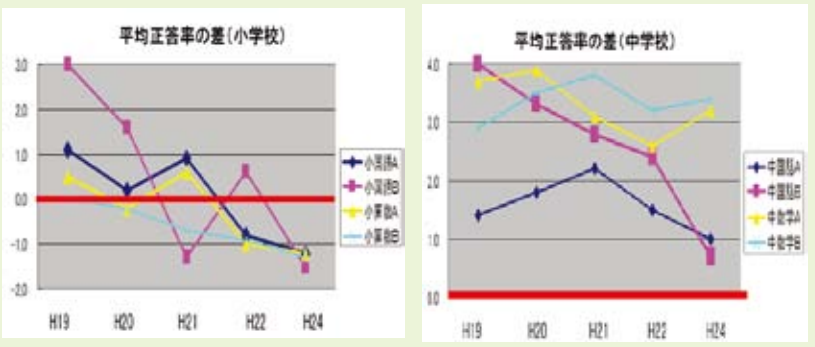
◎市内の児童に国語Aの確認

「漢字はできたけれども文章問題は解答できなかった」との返事。国語文書の読解力に問題があると感じた。この影響は大きい。先生たちは学力テストだけではなくと弁明するが……。

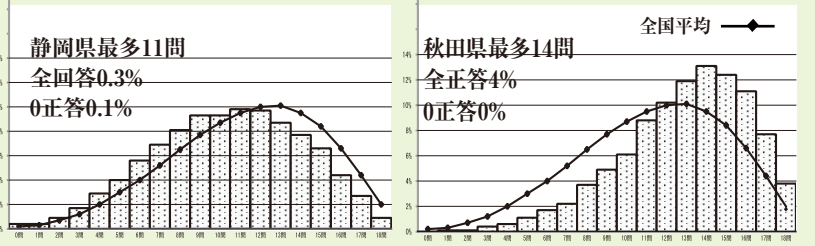
25年度全国学力・学習状況調査から

トップの秋田県との違いは「子ども教育の思想と実践」の差!!
秋田県の教育委員会HPの全国学力・学習状況調査報告書と静岡県の報告書と比較すれば歴然だ。静岡県の内容は毎年低下傾向にある指摘はしているが具体的な施策はない。秋田県はトップにもかかわらず更に努力すべき施策を明解に提示し実践している。

静岡県学力調査報告19年度から24年度までの比較



静岡県と秋田県の小学校国語A(主として知識)正答数比較グラフ



学習状況調査アンケート結果

家庭学習ではともに「学校の宿題」をしている割合が高いが、「苦手な教科の勉強をしている」と答えた割合は静岡の16.4%に対し、秋田は37.4%。また「復習をしている」とした割合で静岡は、秋田の59.9%より43.9ポイント低い16.0%、「テストで間違えた問題を勉強している」との回答も、秋田の38.8%より22.7ポイント低い16.1%だった。
平日に学校以外で2時間以上勉強する静岡の児童は25.5%で、学習塾(家庭教師含む)で勉強しているとした児童も51.3%に上った。これに対し、秋田で2時間以上勉強すると答えた児童は15.0%にとどまり、塾で勉強している児童は静岡の半分以下の22.8%に過ぎなかった。

今年4月全国学力テスト対策「学力テスト予行演習実施」

県教育委員会は4月22日に公立学校の小学6年生や中学3年生に実施予定の全国学力テストの「予行演習」として、テスト前の2月に現在の小学5年生や中学2年生に今年度の学力テストの問題を解かせ、テスト後にはいち早く児童・生徒の課題を把握するため、学校の教員が5月にテストの採点することを提案した。
4月の学力テストの実施時には、児童・生徒の解答用紙を提出前にコピーし、文部科学省から解答や解説が届く5月頃に担任や教科担当の教員が採点する。担任らは自ら問題も解き、児童・生徒のつまづく箇所を早期につかみ、個別の学力指導に役立てる。
10月に教育委員会で視察した「全国学力テストの上位県・秋田県の取り組み」を参考にした。

2. 川勝知事の県教育委員会改革!!

- | | | |
|---|--|---|
| <p>副教材の選定方法の指針発表</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 複数の見本を収集する ② 複数の教職員が選択する ③ 選択基準の共通理解を進める ④ 保護者に説明する | <p>教育行政は行政のプロに任せる。
教育長を行政に精通した文部科学省から選定
教員は全て学校現場に戻し、教員不足を改善
教員不祥事多発や無資格授業改善にも対応</p> | <p>教育行政あり方検討会答申を重視する。
24年 6月 教育行政あり方検討会設置
25年10月 学力向上対策本部設置</p> |
|---|--|---|

1/20~24自民改革会議団ベトナム視察

夕方5時半ごろ成田空港からJAL便とANA便に分かれて出発した。ベトナムホーチミンは時差が3時間あり、気候は常夏である。日本では旧暦の1月31日が正月に当たるため、街は正月準備でにぎわっていた。
アマタ工業団地にあるドラゴン・ロジスティクスは鈴と住友商事が出資の物流会社で国際輸送を取り扱っている。
フー・アン・タン工業団地にあるヴィーナ・エコ・ボードは住友林業が出資しているパーティクルボード工場である。
ヌバントゥアン農園はドラゴンフルーツを主に栽培している。ドラゴンフルーツの年間売上は120万円ほどだが、ベトナムの賃金は月3万円程度だから、この農家は御殿があり金持ちだった。
ホーチミン港ターミナルの管制所を視察した。ベトナムで最大のコンテナ港で運営は軍が行っている。
旧サイゴンの大統領府の統一会堂は南北戦争の記念館となっている。処刑台もあり、ソ連の戦車なども飾ってある。
クチトンネルはクチ県の人民が戦った地下トンネル。



アマタ工業団地 フー・アン・タン工業団地 メコン河クルーズ会社
ヌバントゥアン農園 ホーチミン港・カトライターミナル 統一会堂
クチトンネル トンネル入り口 クチ県ゴムの木栽培が続く 街はバイクで溢れている

12月平成26年度事業予算ヒアリング開始 川勝知事に自民改革会議要望と予算折衝

12月初旬から1月末にかけて次年度事業予算を3回県当局各部署から各会派に説明ヒアリングを行なう。1回目の説明の後、各会派は知事に独自案の要望書を提出する。
1月末に知事から要望に基づいた事業予算説明がある。



12月18日自民改革会議要望 1月30日主要事業知事説明

消防団女性隊員を募集しています。

消防団の活動には、女性ならではの活動も多く、たくさんの女性団員が活躍しています。働いている方も、学生の方も、主婦の方も、多くの女性のチカラが消防団で輝いています。



消防団女性隊の活動

10月22~24日 暮らし環境委員会視察 北海道オホーツク知床地域



オホーツク総合振興局 斜里町役場有害鳥獣対策 知床世界遺産センター
美幌町・びほろエコハウス

9月9~11日 富士山保全・活用特別委員会視察 岩手県平泉町・栃木県日光東照宮



平泉町役場 毛越寺 平泉文化遺産センター
中尊寺 岩手県庁 栃木県庁 日光東照宮

9月13日 富士山保全・活用特別委員会視察 山梨県 富士山について山梨県側の状況について日帰り視察を行った。



山梨県立富士ビジターセンター 北口本宮富士浅間神社 富士スバルライン五合目 船津胎内樹型

10月17~18日鳥取県境港 「ゲゲゲの鬼太郎」水木しげるロード視察



「ゲゲゲの鬼太郎」の作者「水木しげる」の故郷、境港駅前から約500m先の商店街にある「水木しげる記念館」までの道路両側にゲゲゲの鬼太郎に出てくるお化けたちが約180体も並んでいる。境港は鳥取県の端の辺鄙な場所にあるが、テレビドラマ「ゲゲゲの女房」で一躍有名になり、観光バスが常時来て賑わっている。楽しい場所である。